

これだけは覚えよう！重要ポイント

角錐

1つの多角形を底面を持つ

頂点

全ての側面が集まる点

側面

全て三角形

Q. 角錐とは？ 1つの多角形を底面に持ち、側面が三角形で1点に集まる立体。

① 角錐の定義

定義

底面が多角形、側面が三角形で、1つの頂点に集まる立体。

三角錐、四角錐、五角錐など

② 頂点と高さ

構成

全ての側面が集まる点が頂点。頂点から底面への垂直距離が高さ。

高さ = h

③ 辺と面の数

公式

 n 角錐の辺は $2n$ 本、面は $n+1$ 枚。四角錐なら辺8本、面5枚。辺 = $2n$, 面 = $n + 1$

④ 角柱との違い

比較

角柱は上下に底面、角錐は底面1つと頂点1つ。

角柱 → 底面2つ, 角錐 → 底面1つ

💡 ミス回避のコツ

⚠️ 高さと同様に混同

✖

側面の辺 = 高さ

○

高さは頂点から底面への垂直距離

高さは「垂直」に測る。斜めの辺は高さではない。

⚠️ 面の数を間違える

✖

四角錐の面は4枚

○

四角錐の面は5枚（底面1+側面4）

 n 角錐の面は「 $n+1$ 」枚。底面を忘れずに。

最終確認チェックリスト

- 角錐の定義を言えるか？
- 頂点と高さの違いを理解したか？
- 辺と面の数の公式を覚えたか？